

事務事業名	「わくわくチャレンジ」推進事業	事務事業No.	20303000652	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
学校週5日制が完全実施されたが、土曜日を必ずしも有意義に過ごしていない子ども達も少なからず存在するとの指摘がある中で、子ども達にとってより豊かで有意義な土曜日を実現するために、桜川市では平成26年度より「わくわくチャレンジ」事業が開始された。アンケートをもとに少しずつ教室内容を変えている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
家庭ではなかなかできない体験を親子でできる機会がもてる。学校においてもなかなかできない体験ができる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子ども達が地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域における子どもの学校外学習での場や機会の充実を図り、豊かな体験学習の機会を提供することで、子どもたちの「生きる力」を育む一助として実施している事業であるため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある まだまだ参加率は低いので、子ども達が求めているような内容を考えることで参加率を上げることができると考える。特に、高学年から中学生の参加率が著しく低いので、従来の内容のほかに、高学年以上のニーズに合った教室内容を考える。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土・日曜日を有意義に過ごしている子どもとそうでない子どもの教育格差が開いてしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 地域学校協働活動事業 等
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市内の子どもを対象としており、地域や学校との連携・協働は可能であると考え。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 講師謝礼の報償費は最小限で行っており、事業費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担として、材料費が必要なものに関しては参加者から材料費を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	新たな教室内容や、茨城県自然博物館や文化財課に講師を依頼し、専門的な内容を学べる教室を開催することができた。感染症対策を昨年度と同様に実施し、やむを得ず中止とした教室があったが、一部の教室では募集人数を30人に増やした。参加率はコロナ禍以前の数字に戻り、4歳児～小学校低学年の参加率が高かった。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	向上		○		維持			×	低下	向上			×	維持			×
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持	向上		○																										
	維持			×																									
低下	向上			×																									
	維持			×																									
参加人数は昨年度より増加したが、小学校高学年～中学生の参加率が低い。また、昨年に引き続き、同様の教室内容を開催すると参加率が低くなるため、時間を置いて開催したり、新たな内容を取り入れたりする必要がある。毎回アンケートを取っているため、子どもが希望する教室を取り入れる。また、博物館などから講師を依頼し専門的な教室内容や、地域で活動してる人材を活用して桜川市ならではの活動できるように企画する。		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認